

「情報公開文書」

研究課題名：飲酒・アルコール体質と胃癌発生の関係

研究責任者：宮城県対がん協会 医師 浅沼 清孝

1. 研究の対象

下記調査期間に仙台市胃がん検診内視鏡検査と宮城県対がん協会人間ドックでアルコール体質検査を実施した全例を対象とします。

2. 研究目的・方法

アルコールの代謝産物であるアルデヒドは飲酒時の悪心や顔などが赤くなる”フラッシング”と呼ばれる現象の原因となるだけでなく、咽頭・食道がんをはじめ各種がん発生の危険因子と考えられています。しかし、お酒と胃癌発生との関係は現時点ではつきりと分かっておりません。宮城県対がん協会ではこの関係を研究することで、胃癌に罹患しやすい患者を判別し効率よく拾い上げる検診体制の構築を目指した臨床研究を行います。

検討1：2019年度から2021年度（2019年6月から2022年2月迄）施行の仙台市胃がん検診内視鏡検査を受診した方の年齢、性別、喫煙・飲酒歴など問診情報、診断名を参照し胃癌の発癌リスクの関連を検討します。

検討2：2013年度から2021年度（2013年4月から2022年3月迄）に当協会人間ドックでアルコール体質検査を施行した受診者を対象といたします。受診者様に通知いたしますアルコール体質検査結果（ADH1BとALDH2というアルコールを分解する2つの遺伝子の違いを測定した結果と飲酒習慣を問題飲酒習慣指標 Alcohol Use Disorders Identification Test（AUDIT）を用いてスコア化したもの）に加え、年齢、性別、喫煙・飲酒歴など問診情報から胃癌の発癌リスクを評価します。

研究期間は研究承認後から2022年3月31日とし、研究結果は2021年11月開催の日本消化器がん検診学会と論文による誌面での発表を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

使用する情報は皆様を受けられた検診や人間ドックの検査結果と問診情報のみを使用いたします。これらの情報は誰のものか一見して判別できないよう、氏名・住所等の個人情報をもったく別の管理番号（研究用ID）に置き換えたくうえで管理します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお
申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

宮城県対がん協会： がん検診センター

研究責任者： 浅沼 清孝

連絡先： 022-263-1525